

託す思い

自分では出来ないことを、他に頼み任せる、委ねることを「託す」といいます。3年生に贈る会が3月5日に行われます。1, 2年生は3年生に思いを託される日となります。生徒総会, 学園祭, 委員会活動など全てが一新され, 新たな工夫と枠組みを模索した一年間でした。3年生の皆さん, 最上級生になってからは, 一人一人の成長に加え, 学年の集団としての質の高まりは素晴らしいものでした。先言後礼, ZOOMによる集会を実践するとともに, コロナウイルス感染症対策の手洗い・検温・マスク着用等全校をリードして活動を推進することができています。1, 2年生は託された思いを受け, よりよい上条中学校を創造していきましょう。

3月3・4日公立高校後期入試, 5日(金)3年生に贈る会, 11日(木)卒業証書授与式, 12日(金)公立高校合格発表, 25日(木)修了式・離任式となります。保護者及び地域の皆様方には本年度体制での学校通信は最終となります。お付き合いありがとうございました。中学校は地元の仲間づくりの場であり, 街づくりを行う場所です。今後とも温かく見守っていただき, 上条中学校へのご理解とご協力をお願いいたします。

上条中学校 校長 茅野賢一

「意欲」を高めるための「発想の転換」

私にとって令和2年度は次から次へと「発想の転換」を求められる年でした。「発想の転換」とは, 例えば『おいしいケーキを半分食べ終わった時に「もう半分しかない」と感じている自分の気持ちが「まだ半分ある」と考えること』のように「考えやものの見方の角度を変えたり, 別の観点から事柄を見たり, 新しい見方をしたりすること」です。言い変えると, ネガティブ(悲観的・後ろ向き)な気持ちからポジティブ(楽観的・前向き)な気持ちに変化させることもいえます。文章を書いてもそれを意識してきました。「〇〇ですが, 〇〇を行いました。」という言い回しの前半部分には, どうしてもネガティブな内容を書いてしまう傾向があります。同じことについて「〇〇を行い, 〇〇ができました。」という言い回しにすることで, ポジティブな印象が残ります。

私が中学校2年の頃, 生活する姿勢が変化した基には, この「発想の転換」がありました。納得できない家庭の環境を理由に気持ちを荒ませていた時期は, 何をしてもうまく行きませんでした。それが, 将来安心して生活できる家庭を自分で創ろうと考えだしてからは, 何事にも前向きに取り組めたのです。

ポジティブな発想は, 人の「意欲」を高めてくれます。「意欲」は人の活動を支えています。中学生にとっての勉強, 生徒会活動, 部活動・・・, 大人にとっての仕事, 地域の活動, 家の管理・・・, どれも「意欲」を持って行わなければやり遂げられないことです。

令和3年度は, コロナ禍における生活環境の良化が見込まれます。この「発想の転換」を様々な場面で発揮しながら, 1, 2年生は上条中学校で, 3年生は新天地で活躍できるよう頑張ってください。

(春休みの生活: 校長の言葉より)

令和3年度上条中学校を想う

～学校評価からの一点突破～

人格形成に「完成」はないのだと思います。誰もが皆不完全さをもっており、その特徴は様々です。その人が集まり、学び合う「学校」も同じような面があります。その学校の特徴を顕在化しようとするのが「学校評価」です。本校においても、「教職員による自己評価」「生徒アンケート」「保護者アンケート」「学校関係者評価」の4つの視点からまとめました。その詳細については、ホームページを参照していただければと思います。本稿では、その学校評価を受けて改善が必要だと指摘されたひとつの事柄に視点をあてて、来年度の上条中学校をどのように高めてゆく方向性を示し、来年度へ繋げたいと思います。

「学力の向上」

保護者のアンケート3「学習指導の充実や学力の向上について取り組みは、適切に進められていると思いますか。」について、A+Bの全体の割合が昨年度に比べて-4.2%となり、コロナウイルス感染症に影響を受けたと解釈のできる11,12に次いで低い数値でした。一方生徒のアンケートで学習に関わる4,5,6はそれぞれ昨年度を上回っています。教師の学習指導に関する①「基礎・基本的な知識・技能の習得とその活用により、確かな学力の定着を図る学習指導に努めている。」について昨年とA+Bは同値でした。

4月当初の臨時休業中に取り組んだ「上条ホームスタディ」の提出物の状況からは、良く取り組んでいることが観て取れました。一方、少ない授業時数、対話的な学習形態が取り辛い事や、特別教室の対面授業とそれに伴う実験実習に制限が加わったことは生徒たちの学力に影響していることが予想されます。それを補うために、これまで、実物投影機やプレゼンを用意して、実験を演示して考えさせたり、図や動画を映し興味関心を高めたりして取り組みました。来年度は更なる試行錯誤を繰り返し、取り組むことが必要となります。

まずは来年度次の3点を意識して、学校、家庭で取り組みましょう。

- ・生徒達にとって、授業のめあてが明確で、興味を引き付けながら行われる分かりやすい授業を展開できるよう、教師集団が切磋琢磨して取り組む。(←教師)
- ・朝食、昼食、夕食をしっかりと、睡眠も十分確保しながら、心身ともに健康的な生活を実現させる。加えて、学校・家庭双方で安心して生活することのできる環境を構築する。(←生徒・家庭・教師)
- ・家庭学習を習慣化し、授業で学んだことの復習を確実にできるようにする。(←生徒・家庭・教師)

どう取り組むか、個々の家庭及び生徒、教師が実態に合わせて創造する必要があります。学校でも、校務分掌を機能させて学力向上のみならず安全対策、生徒指導等への取り組みなども行います。皆様にも今後とも本校の教育活動へのご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます。